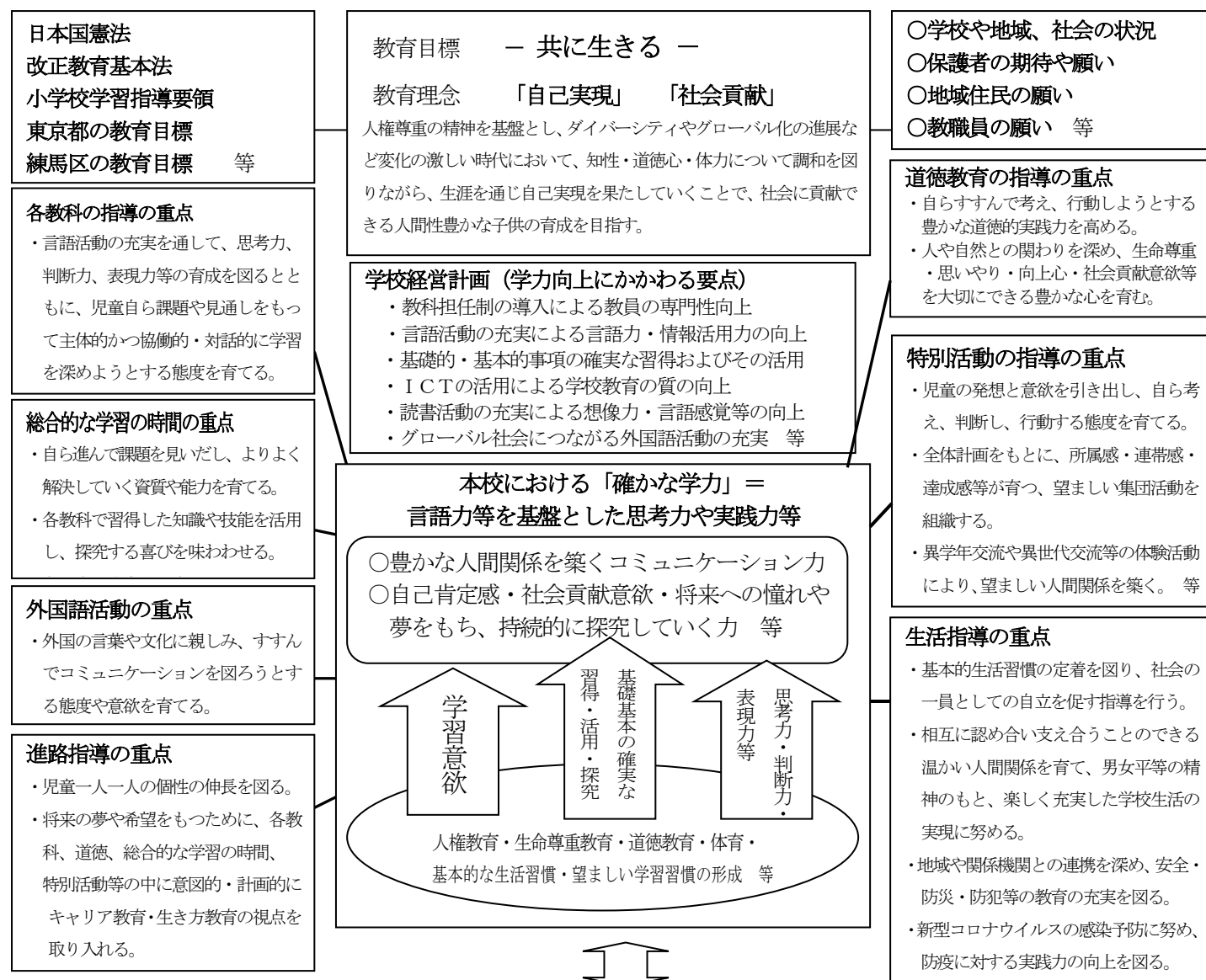




本校の授業改善に向けた視点 *「主体的・対話的で深い学び」につながる授業の探究

各教科・領域における 言語活動の充実	教育課程編成上 の工夫	校内における研究や 研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との 連携の工夫	小中一貫教育の視点
○教科担任制をはじめ、 学習活動・学習過程・学 習形態等を工夫する。 ○指導体制の工夫 ・区学力向上支援講師や 加配教員による習熟度 別算数少数指導を実 施する。 ○交換授業を実施する。 ○年間指導計画等を改善す る。 ○学習スタンダード等を 効果的に活用する。 ○板書計画、ノート指導 の充実を図る。 等	○ゆとりある授業 時数を確保す る。 ○漢字・計算・読 書等の基礎的・ 基本的な学習の ための関北タイ ムの充実を図 る。 ○地域未来塾の検 討を開始する。	○全面实施となった小学 校学習指導要領の趣旨 を生かした授業実践の 充実を努め、教師個々 の指導力や授業力等の 向上を図る。 ○教員の能力・特性を生 かした指導力向上の ための研修会の実施 ○学習指導要領および特 別支援教育等の研修会 を開催する。 等	○評価規準・評価計画 のもと、PDCA〔計 画・実行・評価・改 善〕のサイクルによ る改善を図る。 ○形成的評価を随時行 うことにより、指導 と評価の一体化を目 指す。 ○評価補助簿等を活用 し、個別指導の充実 を図る。 等	○「総合的な学習の時間」等、各教 科領域の学習における地域人材 を積極的に活用する。 ○学校評議員による評価を生かし、 開かれた学校づくりの推進をす る。 ○基本的な生活習慣や学習習慣を 育む家庭の教育力の向上を目指 す。 ○様々な広報活動により、学校の教 育情報の積極的な発信をする。 ○校舎改築を踏まえ、地域主催行事 に教員が積極的に参加すること による、相互の信頼関係の更なる 深化 等	○関中学校との定期的な 連絡会や分科会を開催 し、小中一貫教育につな がる情報を共有化する。 ○これまで実施してきた 活動を生かして、一層の 連携を図る。 ○児童生徒間だけでなく、 教員間の交流を校区別 協議会等で推進する。 ○先進校の研究に学び、 新企画を立案する。 等

授業改善策の検証方法

- 各種の意識調査や学力調査の結果を入念に分析し、前年度との経年比較を行いながら、指導方法の成果と課題を明らかにし、児童の学びを豊かにしていく。
- 各教科の基礎的・基本的な内容の習得状況については、各種の学力調査の結果と授業改善策との関連を踏まえて分析し、前年度からの変容を確認していく。
- 校内研究の一環として、児童の学習意欲に関する意識調査を行ったり、学校2020レガシー関連の体育科の新しいスポーツを導入したりして、学習意欲の向上を図っていく。